

平成
20年

1/1

No.1153

流山新聞

毎月1日・15日発行

ながれは

発行/流山市
編集/秘書広報課

〒270-0192 千葉県流山市平和台1-1-1 / 流山市のホームページアドレス
☎04-7158-1111 (代表) / <http://www.city.nagareyama.chiba.jp/>

税金等は私たちの暮らしを支えています
必ず納期内に納めましょう

今月の納税・納付

- 市・県民税(第4期)
 - 国民健康保険料(第8期)
 - 介護保険料(第8期)
- 納税・納付は便利な口座振替で



迎春



写真=右上：春の江戸川堤。右下：訓練に励む消防署の救助隊員。左上：駅前送迎保育ステーション。左下：サマー・ファンタジアで踊る高校生。

未来の流山のために、今なすべきことを



流山市長
井崎 義治

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年、これまで以上に、市民の皆様との協働による街づくりが本格化する年です。いよいよ流山市総合計画の後期基本計画の策定が始まります。市民の皆様への英知を結集し、10年後、20年後の国内の高齢化や人口減少なども視野に入れ、行財政改革や協働の街づくりを計画的に推進していく年であると考えています。

世界に例を見ない急激な少子高齢化が進む中、健康で生きがいを持って暮らしていくために、昨年は、

市制施行40周年を記念し、WHO(世界保健機関)の精神に基づき「健康都市宣言」を行いました。今年も、「ヘルスアップ事業」等を推進します。また、新たに「こんにちは赤ちゃん訪問事業」などさまざまな健康増進施策を展開してまいります。子どもたちの歓声や笑顔があふれる街づくりのためには自治会やNPOなど地域の協力が大切です。子育てに限らず介護、防犯・防災など、地域の課題を解決する糸口は、そこに暮らす方々のコミュニティにあると思います。今年30回目を迎える市民まつりをはじめ、古くから伝わる地域の祭りや若い方々が企画運営する四季折々のフェスティバル・講座や講演会・コンサートなどに、ひとりでも多くの方々が参加され、顔見知りになられ言葉を交わされることが、地域課題解決のスタートであり近道だと考えています。私も、市民の皆様が安心して住み続け、誇りに思える街・流山の未来のために、今なすべきことに全力を尽くしてまいります。

さらなる躍進の年に



流山市議会議員
馬場 征興

明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、健康で希望に満ちた初春を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。また、常日頃から市政の発展はもとより、市議会運営に温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

現在、市では、「健康都市宣言」を行い市民の皆様が健康で生き生き暮らせる市を目指し、積極的に事業を展開しております。また、子育てがしやすい環境をつくるために乳幼児医療助成制度を小学校入学前まで拡大するほか、流山おおたかの森駅前に県内初の送迎保育ステーションを立ち上げました。

さらに、休日診療に加え、平日夜間診療事業を開始するなど市民の皆様が健康で安心して暮らせる街をめざしております。

市議会といたしましても、市民の皆様の福祉の向上をめざし、議会の機能強化、活性化等議会改革に積極的に取り組んでいるところであります。

昨年は、未来の流山市を担う子どもたちの健全育成を実現するため「流山市子育てにやさしいまちづくり条例」を全会一致で可決するなど市民福祉の向上に努めてまいりました。

本年もさらに活力に満ちた地域社会を築いていくため、議会本来の機能を十分に発揮し、市民、行政、議会が一体となり将来に向け魅力あるまちづくりに全力を傾注してまいりますので、本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、市民の皆様がますますのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げますとともに、市民の皆様がますます躍進の年になりますよう心から願い、新年の挨拶とさせていただきます。

民話

流山という地名のおこり オランダ馬悲話 朝寝坊の観音さま



大しめ縄で有名な赤城神社、奥の小高い山が赤城山

流山という地名のおこり

郷主に伝わる民話を紹介します。
元来、民話は文章で記録されてきたものではなく、語り継がれ聞き継がれてきたものです。昭和51年から53年にかけて広報ながれやまで古来の皆さんなどから収集した民話を連載し、昭和60年には、地元出版社の斎書房から江戸川台西にお住まいだった児童文学者の故・おの・ちゆうこさんが「ふるさとの民話」流山・野田」を出版しました。平成に入ってから富士見台の漫画家・おの・つよしさんに依頼し観光事業として民話集を発行しました。今回は、広報ながれやまで初めて書きとめた民話の中から旧流山町地区・旧新川村地区・旧八木村地区からそれぞれ1話ずつ選んで掲載しました。

むかし、むかし、そのむかしのことじゃ。

まだ「流山」という土地の名もついていないころじゃった。そのころはな、東京湾が深くく内陸に入りこんでおって、このあたりの低地のほとんどは海じやった。いまの水田のほとんどは海と、それに続く湿地帯と考えればよい。だから、陸地に深く内湾が入り組んで、それはそれはたいそう美しい風光じや。いまの流山の市街地あたりも内湾の一部じやった。ところがここは太日河というて、江戸川のもと川が流れ込んでおった。つまり、太日河が海に接続する河口にあたっていたのじやった。河口は、上流から流れてきた土砂でだんだん中州ができ

オランダ馬悲話

むかし、むかし、八木や新川の村々は「小金牧」というたいそう大きな牧場の一部じやった。それぞれの村と牧場の間には、長く長い野馬除けの堀や土手があって馬たちが村に入つてこないことになつたんじや。

ていったことはいうまでもない。丘あり、海あり、でたいそう豊かな土地じやったから、このあたりは古くから集落ができての、狩をしたり、漁をしたりしてくらしておったのじや。

山が流れてきたから「流山」

だんだん時代が下つてくると、太日河の河口にある州も、毎年大きくなつていつての、河そのものも木の根のようになつていつての、海にそそぐようになつていつたのじや。村人たちの村は、加や三輪野山の台地にそつて、10軒、20軒と小さな集落をつくつての、河口の州を漁の大切な基地としたのじや。人々が、一番おそれたのは台風じやった。なにしろ太日河は堤防

里びとが伝承「オランダさま」

お江戸のころはな、幕府の直轄領となつて、「牧士」とよばれるたぐさんのおさむらいが、牧場の仕事をしておつた。もちろん、牧士は、近郷近在のお百姓さんたちをつかつて馬のめんどろをみておつたのじやが。

も何もない。大自然の作った大河じや。台風のたびに河床が変わり、その都度本流も変わつた。ある年、大変な大水があつた。毎日毎日豪雨が降り続き、上流から土砂や岩、流木などがゴロン、ゴロンと流れてきつた。何日も何日もこんな日が続いた。人々は、大自然のお

今の流山の町なみにあたるところに、大きな大きな平地ができるともつと驚かせたことがある。平地の先の、一番海よりのところに、なんと海拔十五、周囲三百五十坪におよぶ、「おわん」をふせたよ

鎮守をまつることが流行しておつた。「おわん」の山は、鎮守さまをまつるのに絶好の場所だつた。神さまをおまつりするには、なにぶん、そのいわれが必要だつた。村人たちは、いろいろ考えた。太日河の上流は上州だ。上州には、その当時有名になつて

の氏神もできて村の結束はますます固くなつていつたのじや。そうなる、あたらしい村の名前も必要になつてくる。また、村人はいろいろ考えた。村の名のシンボルはやはり鎮守さまをまつつてある赤城山がいい。この山は、もともと台風で流れてきた山だ。山が流れてきたから「流れ山」そう「流山」という地名は、村人たちが苦心して考え出した名前なのじや。

なにしろ、たくさん馬がおつたそうじや。これらの馬はな、ほとんど幕府の軍馬として育てられたんじやがの、その中から、村々にも農耕馬としてたくさん馬が払い下げになり、お百姓さんとおさむらいさんがお互いに持ち

つ持たれたの立場にあつたのじや。將軍さまもな、年に一度この小金牧に多勢の大名や家臣を連れてやつてきて、「おししがり(お鹿狩り)」という、大きな大きな鹿狩りをしたのじや。そのときは、村々のお百姓

さんたちもほとんど勢子としてかりだされつた。2日がかりで、野田あたりから、柏・流山を通つて松戸まで、山野の動物たちを人海戦術で追いたてていくのじや。まったく大変な仕事じやな。

日本馬よりひと回り体も大きく、たいそう立派な体つきをしておつた。ところが、馬のなかにも当時は人種差別ならぬ馬種差別というのがあつたのじや。うか。その「あしげ」はどうしても日本の馬になじめなかつたのじや。だんだん性格が荒くなつていつた。高い土手と深い堀とでつく

ながれやまの

郷土民話劇場

民話語りの場へ

NPO法人が20日と27日に

郷土の民話をしつくり聞いてみたいという方へ。今月、市内2会場で次のとおり民話の語りの場があります。

【日曜情報センター】
▽日時 1月20日

(日)11時～15時▽場所 流山おおたかの森S・C3階市出張所ロビー
▽内容 NPO法人ながれやま葉による民話の語りのほか、壊れたおもちゃをボランティアで修理する流山おも

ちゃ病院も

【民話駅伝inちば】

▽日時 1月27日

(日)13時30分～15時30分▽場所 南流山福祉会館▽内容 千葉・県民芸術祭の一環として開催、語りや紙芝居など民話の魅力がいっぱい
NPO法人ながれやま葉(佐藤) ☎ 7152-0066

朝寝坊の
観音さま

天上界の会議に遅れた観音さま



かつて観音堂があった下花輪城址公園

むかし、むかしのこ
とじやった。下花輪村
の琵琶(びわ)山の山
頂に美しいお堂があっ
て、たいそうありがた
い観音さまがまつられ
ておったんじや。村人
は、「びわくびの観音さ
ま」と呼んで、だれか
れとなく、おそなえも
のを持って参詣をかか
さなかつたんじやと。
村はずれに、物乞い

の伝松と平六が住んで
おった。2人の物乞い
は、観音さまの夜詣り
が大すきじやった。お
そなえもののおこぼれ
がちようだいできるか
らじや。
ある日、村の漁師の
清兵衛どんのところ
しゅうげん(婚礼)が
あつて、美しい嫁ごど
んがお酒やたくさんの
ごちそうを持つてお詣

りしたんじやと。
その夜、琵琶山へ美
しい月がのぼつたころ
伝松と平六が観音堂へ
やつてきたんじや。そ
おと格子の戸を持ち
あけてお堂の中に入っ
た。
「観音さま、こんばん
は」
伝松が小さな声で観
音さまに言った。
おそなえを見つけた
平六が、目尻さげてう
れしうな声をだした。
「あれ、今日は…。た
いそうなごちそうじや
あ」
タイやキンピラのお
り詰め、めでたいお赤
飯、江戸川でとれた大
きなコイもあつたんじ
や。もっと2人を喜ば
せたのは、1升もはい
る大きな酒どつくりが

つてある野馬土手もか
るくとびこえて、民地
へ入り、農作物を荒ら
したり、人に危害を加
えたりするのじや。農
民の苦難を聞いた牧士
頭は、やむを得ず、こ
のあしげを処分するこ
とにきめたのじや。さ
つそく市野谷村の牧士
鈴木庄左衛門にこれを
命じた。庄左衛門は勢
子を動員してあしげ馬
を追いよせていった。
長崎、野々下とあしげ
は逃げ回つたがとうと
う追ひよせられ、鉄砲
方の狙撃に深く傷つい
たのじや。苦しみがな
らも、あしげはよろよ
る立ちあがり、日ごろ
から住みなれた十太夫
新田の沢にやつとたど
りついた。夕日が美し
く野馬土手を染めてお
る時刻じやった。あし
げは、沢の水を飲み、
悲しそうに遠い故郷を
しのぶように「ひよー
ん」とひと声いなく
と、力つきて沢に横た
わつた。あわれなオラ
ンダ馬の最期じやつた。
これを見守つておつ

きんに踊つたから、観
音さまも、もうたまら
なくなつたんじや。
「オーホオホオホ、
アーハッハッ」
大きな声をだして笑
い出した。伝松と平六
は、トロンとした目で
口をポカーンとあけて
観音さまをみつめてお
つたんじやが、
「あれ観音さま、笑う
てござる。のう観音さ
ま、こつちやござれ、
あんばい悪くなかつた
ら一緒にのみなされ」
などと遠慮もなかつた
のじや。
観音さまも、2人が
あんまりゆかいなんで、
お堂へ下りて仲間入り
した。
「のう観音さま、観音
さまは大変美人じやが
女かいの、男かいの」
平六のとつびな質問
に観音さま笑つて
「どちらでもない。男

でもあるし、女でもあ
る。わたしはな、33の
かたちに変身できるの
じや」
「へー、なんとまた
器用に…」
「つまりな、お前たち
人間の願いや身分によ
つて姿をかえ、だれで
も平等に救えるよう変
身するのじや」
「するつてえと、あつ
しら物乞いまで救つて
くれるんで…」
「そうじや、だから、
こうして一緒に飲んで
いるではないかの」
観音さまの話聞いて
て、2人はたいそう幸
せな気持ちになつた。
夜もふけて、酒とつく
りはもうからつぽじや
つた。伝松と平六は、
極楽にいったような気
になつて腕を枕にいび
きをかきはじめた。
観音さまも2人の寝
姿を温かく見つめてお

つたんじやが、ついコ
ツクリコツクリ居眠り
がはじまつた。
江戸川を上下する船
頭たちの元気のいい声
に、はつと観音さまは
目をさました。
「こりや大変！きよう
は天上で観音さまの会
議の日じやつた」
たいそうあわてて観
音さまは天上界へかけ
つたんじやが、すで
に会議がはじまつてお
つたんじやと。
それからというもの、
村の人は、この観音さ
まのことを「朝寝坊の
観音」とよんで、ます
ます敬つたということ
じや。
観音堂のあつたあた
りは、いまでは下花輪
城址公園となつていて
から行つてごらん。そ
して、観音さまは、桐
ヶ谷の西栄寺にお引越
しされてござる。

た牧士も、勢子の農民
も、十太夫の名主や村
人も、みんな目に涙を
ためておつた。
まず、庄左衛門があ
しげに近づき、首を静
かになでた。十太夫の
名主、須賀八右衛門も
そばによつてきた。勢
子や村人があしげの周
りに人垣をつくつた。
庄左衛門は、名主に
「ねんごろにとむらつ
てやるように…」と申
し伝えた。
須賀八右衛門は、村
人とともに、あしげを
葬り、そこに馬頭観世
音を建立したのじや。
石には、こう刻んだ。
延宝四辰年小金上野
牧噴死したオランダ葦
毛駒この所に安らし。
それから、村人たち
は、しばしばこの馬頭
観音をおまいりするよ
うになつた。やがて小
さなほこらもできた。
人びとは「オランダ
観音」とか「オランダ
ま」と呼びならわした。
そして、オランダ馬
の悲話は、里びとによ
つて、代々語り伝えら
れ、こんにちまで伝承
されてきたのじや。
いまでも、東初石5
丁目の雑木林と住宅街
の間には、このオラン
ダ観音のほこらがある
から、一度たずねてご
らん。野馬の声が、ど
こからか聞こえてきそ
うだから不思議じや。



ひっそりと佇む小さな祠には馬の好物ニンジンが供えられていました

15万人のひろば

野球少年に夢を

ファイターズ入団の村田選手

昨年12月14日、北海道日本ハムファイターズに入団が決まったばかりの村田和哉選手が井崎市長を訪ねてくださいました。

村田選手は、流山北小から南部中、市立船橋高を経て、中央大学野球部キャプテンに。小学校1年生のときから少年野球チームの加岸ペアーズに所属。新しい背番号は、イ



身体の小さな子どもたちに希望を与える活躍を

チローと同じ51番。日本ハムファイターズには、同じ流山市出身選手として平成16年に入団した押本健彦投手が現役で、また、大先輩では、昭和56年に入団し完封勝利を達成した

田中幸雄投手が有名です。

村田選手のお父さん村田信典さんは「想いの山日記150座」という著書があり、ご両親とも登山やテニスに興味のスポーツ一家です。165センチ、

65キロ、右投げ、左打ちの外野手で、プロ野球の登録選手としては、日本一身体の小さい選手ですが、村田選手は「身体の小さな少年野球の子どもたちに夢を与えられるような活躍をしたい。守備も攻撃

もスピードを見てほしい」と抱負を語ってくださいました。村田選手は、今月7日からチーム寮に入ってプロ野球選手としての第一歩を踏み出します。

流山市出身の選手にご声援を。

北京へ高まる期待

八歳選手が国内6連覇達成

車いすテニスのトッププレーヤーが集い全国一を決める「第17回NEC全日本選抜車いすテニス選手権大会」が昨年12月14日から16日まで(財)吉田記念テニ

ス研修センターで開催されました。男女シングルスなど3種目が行われ、国内ランキング上位の20人のトッププレーヤーが優勝を競い、流山市の

八歳美恵選手が6年連続の優勝を果たしました。

昭和63年、当時高校生だった八歳さんは、交通事故に巻き込まれ脊髄損傷で車いすの生活に。退院後、平成2年から国立身体障害者

昨年は、11月10日から13日までの4日間にわたり、茨城県の19市2町で開催されました。銅メダルに輝いたのは、音道アエさん、島田正子さん、加藤美幸さん、下条シズ子さん、

藤本須磨子さんの68歳から79歳の皆さん。太極拳は、体の軸を意識し下半身をよく使い、足腰が強くなるそうです。

代表の音道アエさんは、「今年で6回目の参加になります。過去には4位が最高でしたが、今年は表彰台に登ることができ感慨深い。次回、次々回と、これから金メダルを目指していきたい」と語ってくださいました。



吉田記念テニス研修センターで優勝したばかりの八歳選手

ねんりんピックで銅メダル

太極拳で快挙



心臓に負担をかけずに下半身を鍛えられる太極拳で健康増進

昨年11月21日、「ねんりんピック茨城2007」の太極拳の部で、見事3位に入賞した皆さんが市長室に報告に訪れてくださいました。

「ねんりんピック」は、60歳以上の中高年者を中心とした、各種スポーツ競技や文化イベントなどの祭典「全国健康福祉祭」の愛称です。

子どもたちと交流

PTAがJリーグ招く

昨年J1リーグに復帰し、8位でシーズンを終えたばかりの柏レイソルの選手やコーチが流山市を訪れました。

昨年12月14日、江戸川台小学校で行われた「れいそるしま専科」という学校訪問のプログラムです。子どもたちと保護者との会話を

増やそうと企画された交流事業で、選手たちをお招きしたのはPTAの5学年委員会(竹本久子委員長)の皆さん。子どもたちと一緒に楽しいひとときを過ごしたのはゴールキーパーの桐畑和繁選手をはじめ根引謙介コーチ、薩川了洋コーチ、秋谷

和幸コーチの4人。秋谷コーチの祖父・秋谷日出臣さんは昭和54・

55年度に同小の第7代校長を歴任された方。保護者が見守る中、



プロのサッカー選手と子どもたちが夢を語り合ったひととき

ボールを蹴って競争し、桐畑選手とハイタッチで喜びを分かち合う子どもたち。声援を受け楽しむ子どもたち。どの子どもたちにも笑顔があふれていました。また、ゲームが終わったからは、「夢を抱く」というテーマでトークショーが行われ、子どもたちの質問に選手が答える時間が設けられました。

「私も、ラッキ

超えていた。

黎明で新春特別展

歌と絵画「月光」秋元松子



歌集「月光」の口絵

▽日時 1月5日(土) 1月20日(日) 9時~16時50分(月曜と17日(木)は休館) ▽場所 杜のアトリエ黎明▽内容 流山出身の画家で歌人の秋元松子が、平成5年に94歳で出版した第三歌集「月光(つきかげ)」から松子が生涯にわたり持ち続けた歌への情熱とその作品を紹介。歌集の口絵をはじめ絵画数点も併せて展示▽入場料 無料 團杜のアトリエ黎明 ☎ 7150-5750

昭和の流山産業史(34) 年商80億を突破した(株)川和の企業理念

昭和62年4月、包装業界を雄飛する(株)川和を取材した時、従業員180名で年商60億円。日本全国法人所得ランキングで2万5362位、流山では3位だった。

水場、消防署を回るコースで往復4キロぐらいい。6時25分からはNHKラジオの基礎英語、6時45分から7時まで、英語会話を聞きながらのマラソンです。

当時、守谷県道沿い西初石の本社と、国道16号線に近い十余二の柏配送センターを機軸にして、「他品種少量」のニーズに合わせて開発された7千種のパッケージを積んだ60台余の川和のトラック(2トン車)が24時間、緑色のカンガルーのマークを付けて、関東近県を駆け巡っていた。

その時、51歳だった川和弘行社長は語った。平成19年10月22日。20年ぶりに西初石の川和本社で弘行社長にインタビューすると、トラック(2トン車)は150台、従業員300名で、年商80億円を超えていた。

高校生から社会人まで力を合わせ アーチェリー部が初優勝

高校生、大学生、社会人が力を合わせ、県民体育大会優勝という快挙を成し遂げたアーチェリー部。

昨年10月28日に行われた県民体育大会アーチェリー競技大会で、流山市チームが初優勝を飾りました。市内では、流山中央高校で22年も前に「アーチェリー体験教室」が開催されるなど、これまで地道な普及活動が続けられてきました。しかし、流山市体育協会にアーチェリー部が誕生してからは、わずか3年。準決勝では、強豪の船橋市と同点となり緊迫したシュートオフ（同点再試合）が行われ、弓を放つ選手に他のメンバーから温かく力強い声援が贈られ、チーム一丸となった勝利でした。

決勝ラウンドは、高校生、大学生、社会人という布陣で臨んだ流山市チーム。3選手は、普段の練習どおりの実力を発揮し、浦安市、柏市という県内屈指の強豪チームと接戦の末、初の栄冠に輝きました。

流山市チームは、まだまだ若い未来のあるチームです。皆さんのご声援を。



体育協会アーチェリー部の皆さん

15万人のひろば



日本代表の副キャプテン鈴木裕加さん

昨年、中国で行われた聴覚に障害を持つ方々のバスケットボール（デフバスケットボール）の世界選手権大会で日本代表に選ばれた鈴木裕加さん。副キャプテンという重責はチームをまとめる明るい性格からのもの。チームの意思疎通は目と目で交わすアイコンタクト。4歳のときに、高熱を出し、朝、起きたら自分の声が小さくなったと感じた。医師の診断は突発性難聴。一夜にして聴力を失った。幼稚園や小学校に通いながら、母と言語教室に通う日々が始まった。家族や友達との支えと自分の努力によって読唇術を身につけた。お互いの顔を見ながらの会話のため嘘はつけない。「いまでも大の仲良し」と家族を語る。高校生時代にバスケットの選手だった父の勧めで、小学校6年生から地域のバスケットチームに参加。中・高・大学とバスケットボール部に所属。そんな頑張り屋の裕加さんも中学生時代には悩み、落ち込み、不登校も体験した。そんなとき母は、相田みつをの詩「自分の番のいのちのバトン」を手渡した。詩を読んだ裕加さん

研究職とバスケットを両立 家族の愛に支えられ

「悩んでも聞こえるようにはならない。聞こえないのは個性だと思って、プラス思考で、前向きに生きよう。いまでも自信をつけよう」と決心。その前向きな姿勢と持ち前の根性で、夢だった薬剤師免許を取得し、人々の健康づくりのための研究職に就くこともできた。いまは、来年のデフリンピック（聴覚に障害を持つ方々のオリピック）の日本代表選手に選ばれること、そして、世界の舞台で勝利することを目標に、仕事が終わってから練習に励む日々。家族や友達への支えがあって、裕加さんの頑張りがあれば、夢は必ず実現できると確信した。

おとなりさん

〈Vol.39〉

「私は耳や言葉が不自由です」 電話お願い手帳 発祥の地へ寄贈

電話お願い手帳をご存知ですか。「私は耳や言葉が不自由です。病院に電話をかけてくださいませんか」など数種類のメッセージが書かれた手帳です。

耳や言葉が不自由な方々が緊急で家族や警察などと連絡をとりたいたいのためにNTTグループが全国で配布しているもので、昨年12月12日、同東葛営業支店の菅谷敏夫支店長から井崎市長に平成20年版の手帳100冊が手渡されました。

この手帳は流山市が発祥の地です。昭和58年2月に当時の流山電報電話局で140部作られ、6月には関東エリアに、12月には全国に広がりました。当時の流山市聴覚障害者部会（現・流山市デフ協会）と電話局、市が協働で考案したもの。また、普及し始めたばかりのファクシミリを使って、耳や言葉が不自由な方がいる世帯と消防署を結ぶなど全国に先駆けた事業を展開してきました。現在では、携帯電話やパソコンのインターネットメール、テレビ電話での手話による会話など通信媒体も飛躍的に進歩し、隔世の感がありますが、流山市で生まれた電話お願い手帳はいまも全国で使われています。



流山で誕生した電話お願い手帳

市嘱託職員(非常勤)を募集

平成20年2月1日採用予定の流山市嘱託職員を募集します。募集職種および受験資格は表のとおりです。

【受験手続】▽提出書類=試験申込書（市指定用紙を1月4日から人事課で配布）に必要な事項を記入し、原則本人が人事課へ持参、または郵送▽受付期間/時間=1月4日(金)～15日(火)（土・日曜、祝日を除く）/9時～17時※郵送は1月15日必着

【第1次試験】▽期日/内容=1月20日(日)/作文試験▽場所=流山市役所

【第2次試験】▽期日/内容=1月28日(月)/個別面接（詳細は1次試験合格者に通知）▽場所=流山市役所

〒人事課 ☎7150-6068

業務	一般事務
採用予定日等	平成20年2月1日、若干名採用予定
勤務日数等	4週間当たり16日、日給8,000円、期末手当あり、交通費支給
受験資格	昭和18年4月2日以降に生まれた方で学歴を問わない

※詳細は問い合わせを

川和弘行社長



川和社長は云う。「包装資材業界は競争激化で、同業他社がたくさんあります。われわれは、資材を生産する機械設備は持たないで、そういうところとタイアップして、共同で無公害の商品を開発し、より早く扱い商品の中に入れる努力をしています。」
21世紀という時代に対応出来る企業でなければね。あそこに包装資材を頼めば、地球に優しい商品を提案してくれるという企業を目指しています」と。(つづく)
文/山本文男

市民ギャラリー 今月の展示

【四季の花々展 7日(月)~11日(金)】
「ひかりの中」をテーマに、流山市文化協会華道部の作品を展示します。
【書道部作品展 7日(月)~31日(木)】
流山市文化協会書道部の作品を展示します。

▽日時 1月17日(木)
★キムチ作り講座
(流山市国際交流協会 共催)
▽日時 1月17日(木)
3434
4

★博物館子ども教室
「勾玉づくり」
▽日時 1月12日(土)
13時30分~15時30分
場所 中央図書館会議室
▽対象 定員 市内小・中学生とその保護者/20人(先着順)
内容 口ウ石から勾玉を作り、口ウ石から勾玉を汚れます。参加費無料。申し込み 4日9時から電話で博物館へ。
電話 7159

講座・講演



★印のあるものは主催のものです

10時~12時 場所 文化会館
▽対象 定員 市民/24人(先着順)
▽内容 韓国出身の金子さんから、白菜キムチの作り方を学びます。参加費 300円。持ち物 三角巾、エプロン、ふきん2枚、タッパー、おしぼり。申し込み 4日から電話で文化会館へ。
電話 715

★高校開放「炭焼き体験・流高炭塾(第二期・炭窯作り)」(県立流山高等学校共催)
▽期日 1月26日(土)、2月2日(土)・9日(土)・23日(土)
※雨天時はいずれも翌日の日曜に順延。時間 9時~16時。場所 県立流山高等学校。▽対象 定員 市内在住の20歳以上の方/各15人(先着順)。▽内容 炭窯作り。3月に炭焼き(竹炭)予定。講師 渡部寛仁さん(同学校長)。▽参加費 無料。持ち物 軍手、昼食。申し込み 4日から20日までに、ファックス(講座名、住所、氏名、性別、年齢、電話番号) 715

★デジタルカメラ写真の編集講座(全4回)
▽期日 2月1日(金)・8日(金)・15日(金)・22日(金)
時間 13時30分~16時。場所 文化会館。▽対象 定員 16名。▽内容 写真の撮影、加工、プリント、アルバム作り。参加費 2000円(テキスト代等)。持ち物 デジタルカメラ、フラッシュ、メモリー、筆記用具。申し込み 往復ハガキに講座名、住所、氏名、年齢、電話番号、返信用に宛名を明記の上、1月15日(必着)まで。
電話 715

★メイクアップ講座
▽日時 1月19日(土)
13時30分~15時30分
場所 障害者就労支援センター
▽対象 定員 15人(先着順)
▽内容 メイク実習。テキスト 2000円(テキスト代等)。持ち物 デジタルカメラ、フラッシュ、メモリー、筆記用具。申し込み 往復ハガキに講座名、住所、氏名、年齢、電話番号、返信用に宛名を明記の上、1月15日(必着)まで。
電話 715

★家庭教育講座公開講演会「皇室の日々の食事から学ぶ日本の食文化」
▽日時 1月31日(木)
10時~11時30分
場所 文化会館
▽対象 定員 市民/860人(先着順)
▽内容 元宮内庁大膳課厨房第一係和食担当・谷部金次郎さんの講演。現在の日本の食生活と食料自給率、「日本の食文化を見直す」。入場料 無料。申し込み 当日直接会場へ。
電話 715

★パソコン入門講座(全3回)
▽期日 2月5日(火)・6日(水)・7日(木)
時間 10時~12時
場所 文化会館
▽対象 定員 パソコン初心者/20人(多数抽選)
▽内容 パソコン入力操作からインターネット検索まで。参加費 2000円(テキスト代等)。申し込み 往復ハガキに講座名、住所、氏名、年齢、電話番号、返信用に宛名を明記の上、1月12日(必着)まで。
電話 715

★リサイクルプラザの教室
リサイクルプラザ・プラザ館を会場に、市民の方を対象とした教室を開催します。
①廃ガラスでフローリングづくり
▽日時 1月29日(火)
13時~15時
定員 12人(多数抽選)
参加費 1000円(材料代)
②健康そうりづくり
▽日時 2月4日(月)
10時~16時
定員 20人(多数抽選)
参加費 300円(材料代)
持ち物 古バスタオル、はさみ、昼食
③トート型マイバッグづくり
▽日時 2月6日(水)
10時~16時
定員 10人(多数抽選)
参加費 無料

★楽しい水彩画教室
「受講生作品展」
▽期間 1月13日(日)~1月20日(日)
時間 9時~21時
場所 生涯学習センター
内容 同センター主催「楽しい水彩画教室」受講生の作品展。同教室の講師・秋元由美子展。シルクロード回廊。同時開催。入場料 無料。
電話 715

★新春豚汁とみんなで走ろう会
▽日時 1月6日(日)
8時~10時(受け付け7時40分)
※雨天中止
場所 東深井地区公園
内容 2キロウォーキング、体力アップ運動、コース別ウォーク・ジョグなど。終了後、豚汁を食べます。参加費 2000円。持ち物 タオル、着替え、水筒など。申し込み 当日直接会場へ。
電話 715

★認知症の方を抱える家族の会「コスモスの会」
▽日時 1月22日(火)
10時~12時
場所 ほぼつとプラザ下花輪
対象 認知症の家族を紹介している方など。内容 介護に関わる市職員などを交えての座談会。申し込み 4日9時から電話で介護支援課へ。
電話 715

★読書会「日本十進分類法」の話(本を読もう・流山の会主催)
▽日時 1月19日(土)
13時30分~15時30分
場所 中央図書館
対象 定員 市民/40人(先着順)
内容 図書館における資料の構築、整理、検索、提供に関わる最も基本的なツールである日本十進分類法の総記の本(図書館、図書、百科辞典、ジャーナルズ等)についてのQ&A、本の朗読、読書発表。参加費 無料。申し込み 当日直接会場へ。
電話 715

★介護支援課
▽日時 1月13日(日)
10時~16時
定員 20人(多数抽選)
参加費 300円(材料代)
持ち物 古バスタオル、はさみ、昼食
③トート型マイバッグづくり
▽日時 2月6日(水)
10時~16時
定員 10人(多数抽選)
参加費 無料

「東葛5市長新春に語る」
2日10時から千葉テレビ
1月2日(水)10時から11時まで、UHF千葉テレビで「東葛5市長新春に語る」が放送される予定です。市野谷の森や、ふくろうの森に「木工房啄木鳥」、第九演奏会などが紹介される予定です。ぜひ、ご覧ください。

★新しい水彩画教室
「受講生作品展」
▽期間 1月13日(日)~1月20日(日)
時間 9時~21時
場所 生涯学習センター
内容 同センター主催「楽しい水彩画教室」受講生の作品展。同教室の講師・秋元由美子展。シルクロード回廊。同時開催。入場料 無料。
電話 715

★読書会「日本十進分類法」の話(本を読もう・流山の会主催)
▽日時 1月19日(土)
13時30分~15時30分
場所 中央図書館
対象 定員 市民/40人(先着順)
内容 図書館における資料の構築、整理、検索、提供に関わる最も基本的なツールである日本十進分類法の総記の本(図書館、図書、百科辞典、ジャーナルズ等)についてのQ&A、本の朗読、読書発表。参加費 無料。申し込み 当日直接会場へ。
電話 715

★介護支援課
▽日時 1月13日(日)
10時~16時
定員 20人(多数抽選)
参加費 300円(材料代)
持ち物 古バスタオル、はさみ、昼食
③トート型マイバッグづくり
▽日時 2月6日(水)
10時~16時
定員 10人(多数抽選)
参加費 無料

★新春豚汁とみんなで走ろう会
▽日時 1月6日(日)
8時~10時(受け付け7時40分)
※雨天中止
場所 東深井地区公園
内容 2キロウォーキング、体力アップ運動、コース別ウォーク・ジョグなど。終了後、豚汁を食べます。参加費 2000円。持ち物 タオル、着替え、水筒など。申し込み 当日直接会場へ。
電話 715

★認知症の方を抱える家族の会「コスモスの会」
▽日時 1月22日(火)
10時~12時
場所 ほぼつとプラザ下花輪
対象 認知症の家族を紹介している方など。内容 介護に関わる市職員などを交えての座談会。申し込み 4日9時から電話で介護支援課へ。
電話 715

★読書会「日本十進分類法」の話(本を読もう・流山の会主催)
▽日時 1月19日(土)
13時30分~15時30分
場所 中央図書館
対象 定員 市民/40人(先着順)
内容 図書館における資料の構築、整理、検索、提供に関わる最も基本的なツールである日本十進分類法の総記の本(図書館、図書、百科辞典、ジャーナルズ等)についてのQ&A、本の朗読、読書発表。参加費 無料。申し込み 当日直接会場へ。
電話 715

★介護支援課
▽日時 1月13日(日)
10時~16時
定員 20人(多数抽選)
参加費 300円(材料代)
持ち物 古バスタオル、はさみ、昼食
③トート型マイバッグづくり
▽日時 2月6日(水)
10時~16時
定員 10人(多数抽選)
参加費 無料

★読書会「日本十進分類法」の話(本を読もう・流山の会主催)
▽日時 1月19日(土)
13時30分~15時30分
場所 中央図書館
対象 定員 市民/40人(先着順)
内容 図書館における資料の構築、整理、検索、提供に関わる最も基本的なツールである日本十進分類法の総記の本(図書館、図書、百科辞典、ジャーナルズ等)についてのQ&A、本の朗読、読書発表。参加費 無料。申し込み 当日直接会場へ。
電話 715

★介護支援課
▽日時 1月13日(日)
10時~16時
定員 20人(多数抽選)
参加費 300円(材料代)
持ち物 古バスタオル、はさみ、昼食
③トート型マイバッグづくり
▽日時 2月6日(水)
10時~16時
定員 10人(多数抽選)
参加費 無料

★読書会「日本十進分類法」の話(本を読もう・流山の会主催)
▽日時 1月19日(土)
13時30分~15時30分
場所 中央図書館
対象 定員 市民/40人(先着順)
内容 図書館における資料の構築、整理、検索、提供に関わる最も基本的なツールである日本十進分類法の総記の本(図書館、図書、百科辞典、ジャーナルズ等)についてのQ&A、本の朗読、読書発表。参加費 無料。申し込み 当日直接会場へ。
電話 715

★介護支援課
▽日時 1月13日(日)
10時~16時
定員 20人(多数抽選)
参加費 300円(材料代)
持ち物 古バスタオル、はさみ、昼食
③トート型マイバッグづくり
▽日時 2月6日(水)
10時~16時
定員 10人(多数抽選)
参加費 無料

相談あんない(1月)
相談日が祝・休日などの場合は、休みとなります。事前に問い合わせを。

＝市民相談室の相談＝
☎7158-1616

- ①法律相談(予約制)
火・木曜(13:00~15:40)
※3日・31日を除く
②悩みごと相談(予約制)(人権・行政)
21日・28日(10:00~15:00)
③税務相談(予約制)
今月は開催しません
④登記相談(予約制)
9日(13:00~15:40)
⑤交通事故相談(予約制)
21日(10:00~15:00)

- ⑥不動産相談(予約制)
16日(13:00~16:30)
⑦暮らしの手続き相談(予約制)
※予約は2日前までに
9日(10:00~12:00)
18日(13:00~16:00)
※9日は江戸川台福祉会館で出張相談
⑧外国人相談(予約制)
※予約は1週間前までに
23日(13:00~16:00)
＝その他の相談＝
消費生活相談
月~金曜(9:00~16:00)
消費生活センター
電話 7158-0999

- 子供悩みごと相談
月~金曜(10:00~16:00)
家庭児童相談室
電話 7158-4144
育児相談
月~金曜(9:30~16:30)
子育て支援センター
ゆうゆう
電話 7144-7926
子育て電話相談
月~金曜(9:00~16:00)
土曜(9:00~11:30)
電話 7158-1435/江戸川台保育所
7152-0648/向小金保育所
7174-8853
心配ごと相談
水曜(10:00~15:00)
ケアセンター
電話 7159-4735

- 教育相談
月~金曜(9:00~16:00)
※第3水曜を除く
教育研究企画室
電話 7150-8390
青少年相談
月~金曜(9:30~16:30)
※第3水曜を除く
青少年指導センター
電話 7158-7830
療育相談
月~金曜(9:00~16:00)
つばさ学園内療育相談室
電話 7154-4844

- 障害者就労相談
月~金曜、27日(日)
(9:00~17:00)
※平日のみ予約制
障害者就労支援センター
電話 7155-6421
幼児ことばの相談室
月~金曜(9:00~16:00)
ケアセンター
電話 7154-4844
心の相談(予約制)
7日・21日
(13:00~16:00)
心の相談室
電話 7150-6081

- 酒害相談
13日(13:00~15:00)
向小金福祉会館
25日(17:00~21:00)
江戸川台福祉会館
電話 7153-7422
年金相談(予約制)
11日(9:30~15:30)
市民相談室
※先着12人
電話 7150-6110
わが家の耐震相談・無料診断
月~金曜(9:00~16:00)
昭和56年以前建築の木造住宅対象
電話 7150-6088

相談あんない「行政書士相談」が、「暮らしの手続き相談」に名称変更しました。内容は、従来どおり相続、遺言、成年後見などの手続き、書類作成に関する相談です。電話 7158-1616

市民芸術劇場

フービー富田、ノブ&フッキー 爆笑ものまね大バトル

20日からチケット販売

流山市民芸術劇場(同実行委員会、市教育委員会共催)では、タモリのものまねでお馴染みのフービー富田、ノブ&フッキーさんを迎えた「爆笑ものまね大バトル」の公演を開催します。

テレビでお馴染みの3人が、「ものまね三銃

士」として流山に見参。夢のコラボレーションを、どうぞお楽しみください。

▽日時 2月17日(日) 15時(開演)▽場所 文化会館▽チケット販売期間 1月20日(日) ※売り切れ次第終了▽チケット販売場所

①文化会館、各公民館、南流山センター(いずれも9時~16時30分) ②読売新聞(有)青木新聞店 YC 初石 YC チケット代 2500円(全席指定) ※詳細は問い合わせを ③ 生涯学習課 ☎7150-6106



狂言と能

古典芸能鑑賞会

3月5日に国立能楽堂で

古典芸能への関心と知識を深めていただくこと、3月5日に古典芸能鑑賞会「狂言と能」を開催します。

今回の演目は、狂言「雁大名」、能「海人」を上演します。

▽期日 3月5日(水) 国立能楽堂(渋谷区千駄ヶ谷)▽日程(予定) ①東部公民館(9時) ②流山駅東口(9時15分) ③江戸川台駅西口(9時30分) ④国立能楽堂(11時30分) ⑤鑑賞会(13時~16時) ⑥流山市内 ⑦⑧はバスの乗車場所▽対象

広報協力員を募集

紙面への感想や意見を

市では、よりよい広報づくりを目指して、毎月1日・15日に発行している「広報ながれやま」の広報協力員を募集します。

1年間▽報酬 無償▽業務内容 ①「広報ながれやま」に関する感想や意見、提言などを、毎号自由形式でお寄せいただきます(編集会議等にご協力いただくこともあります)▽応募方法 ①「広報ながれやま」等に関する意見や感想などを600字程度(自由形式)にまとめ、住所、氏名、生年月日、電話番号を添えて、1月15日(必着)までに〒270-0011

市議会

第4回定例会終わる

市議会第4回定例会が、昨年11月29日から12月17日まで開かれ、流山市景観条例や平成19年度の一般会計および特別会計の補正予算など42議案(うち、議員提出のもの10件)が提案され、そのうち36議案が可決、同意され閉会しました。また、石原俊典氏の退職に伴い眞砂由博氏が監査委員に選任、また、教育委員の松浦尚二氏が再任されました。

20歳からスタート 国民年金

成人を迎えられた皆さん、おめでとうございます。20歳になると、成人として多くの権利が認められます。また、同時に義務も発生します。国民年金に加入することもその一つです。

人生80年代。わたしたちは世界で一番の長寿国に住んでいます。長生きできることは素晴らしいことです。が、それだけ、自分の一生を長い目で見た人生計画も大切になってきたと言えます。

現在、国民年金保険料は、月額1万4100円です。全国の金融機関や郵便局、コンビニエンスストアで納めることができます。納付が困難な方は、保険料免除、納付猶予制度、学生納付特例制度がありますのでご利用ください。

保健あんない(1月) 転入者などで個人通知が届かない場合は、お問い合わせください。保健センター ☎7154-0331

ハローベビー 11日・25日 保健センター(12:30~12:50受付) 18日 保健センター(9:45~10:00受付) ※妊娠5~8カ月の妊婦とパートナー対象。3回で1コース(2回目からの参加者は要予約)

カムカムキッズ(予約制) 24日 東部公民館 ※平成18年12月~平成19年3月生まれの乳児対象。歯と食生活の指導と試食。母子健康手帳、おしぼりを持参

もぐもぐ教室(予約制) 30日 保健センター 31日 南流山センター ※4~5カ月児の離乳食指導。母子健康手帳、器、スプーンを持参

育児相談 8日 保健センター 23日 南流山福祉会館(9:30~10:30受付) ※母子健康手帳を持参。今月の保健センターは1歳未満の乳児対象(その兄弟も相談可)

むし歯予防教室(予約制) 9日・15日・30日 保健センター ※2歳2カ月児対象(30日は1・2回参加の幼児対象)。1歳6カ月児健康診査時に申し込みを

食事相談(予約制) 月~金曜 保健センター ※生活習慣病などの食事指導

成人健康相談(予約制) 月~金曜 保健センター ※生活習慣病など健康に関する相談

健康診査 ①3カ月児...28日・29日(平成19年9月生まれの乳児対象) ②1歳6カ月児...21日・22日(平成18年6月生まれの幼児対象) ③3歳児...16日・17日(平成16年10月生まれの幼児対象) ※いずれも保健センター(12:45~13:45受付)

いきいきと輝いて ~ 女性セミナーにご参加を ~

市内在住の女性の方を対象に、別表のとおり「女性セミナー」を開催します。心も体も健康な女性を目指すためのヒントにしていきたい講座です。ぜひ、ご参加を。

Table with 4 columns: 講座名, 期日, 内容, 講師. Includes topics like pregnancy preparation, stress management, and traditional medicine.

上、1月18日(消印有効)までに〒270-0192 流山市役所生涯学習課 ☎7150-6106

柏健康福祉センター(保健所)の事業(☎7167-1255)

Table with 3 columns: 事業名, 1月の実施日, 受付時間. Lists various health services and their schedules.

平日夜間・休日の救急医療

▽場所=保健センター内「平日夜間・休日診療所」(西初石4-1433-1)▽診療科目/受付時間=①平日夜間...内科、小児科/19時~20時30分②休日...内科、小児科、歯科/9時~11時30分、13時~16時30分(午後の診療は13時30分から、歯科の受付は11時30分まで)※病状により二次病院へ紹介させていただく場合があります。休日夜間の救急については、消防本部(☎7158-0119)へお問い合わせください 平日夜間・休日診療所 ☎7155-3456

新春イベント情報

成人式、消防出初式、たこあげ大会など

20歳を祝うつどい

13日、文化会館で

成人を迎える若者の門出を祝う成人式「20歳を祝うつどい」を、今年13日に文化会館で開催します。

今回成人式を迎える方は、昭和62年4月2日から同63年4月1日まで生まれた方で、

▽日時 1月13日(日) 10時30分(受け付けは10時) ▽場所 文化会館

文化会館※会場は駐車場が狭いため、車での来場はできる限りご遠慮ください
■NPO法人・市民助け合いネットワーク 7153-5733 / 生涯学習課 7150-6106

消防出初式

12日、文化会館で

消防の事始めを祝う新春恒例の「消防出初式」が、今年12日に文化会館で行われます。

当日は、市消防職員や消防団員など関係者約600人と、消防車両約30台が参加を予定しています。



消防業務に功績のあった方々の表彰が行われるほか、屋外での消防訓練の演技も披露されます。なお、消防本部では当日午前7時、市内一斉にサイレンを鳴らし「火災予防」をPRすることにしています。

▽日時 1月12日(土) 9時30分(消防訓練の演技は11時ごろ) ▽場所 文化会館 消防総務課 7158-0299

親子たこあげ大会

20日、江戸川河川敷で

たこのあがり具合や出来具合を競う「親子たこあげ大会」(流山市青少年育成会議主催)が、今年20日に江戸川

河川敷で開かれます。市販のたこ、手作りだこ、どちらでも参加できます。ぜひ、ご参加を。

▽日時 1月20日(日) 10時 ※悪天候の場合は27日(日)に順延▽場所 江戸川河川敷野球場 ▽対象 親子▽参加費 無料▽申し込み 当日

9時30分(消防訓練の演技は11時ごろ) ▽場所 文化会館 消防総務課 7158-0299

▽日時 1月20日(日) 10時 ※悪天候の場合は27日(日)に順延▽場所 江戸川河川敷野球場 ▽対象 親子▽参加費 無料▽申し込み 当日



日直接会場へ
■生涯学習課 7150-6106

選挙啓発の書き初め募集

明るくきれいな選挙啓発活動の一環として、市選挙管理委員会と市明るい選挙推進協議会では、市内在住の小・中学生を対象に「選挙啓発書き初め」を募集します。

▽大きさ ①小学生 (縦83cm×横21.5cm) ②中学生 (縦130cm×横36cm) ▽テーマ 小学1年生: ゆめ / 同2年生: せいけつ / 同3年生: 白ばら / 同4年生: 正しい一票 / 同5年生: 大きな期待 / 同6年生: 明るい選挙 / 中学1年生: 投票参加 / 同2年生: 民主主義 / 同3年生: 民主政治 ▽応募方法 作品に学校名、学年、氏名を記入の上、学校ごとに

応募者名簿を添えて、1月11日までに市選挙管理委員会事務局へ ※応募作品の返却はできません ▽賞 入賞者に賞状、応募者全員に参加賞 ▽作品の展示 2月2日から7日まで、入賞作品の一部をイトーヨーカドー流山店に展示
■市選挙管理委員会事務局 7150-6100

市指定無形民俗文化財

ダンガラ餅行事

【日時】 1月6日(日)13時~15時(予定)
【場所】 茂侶神社(三輪野山五丁目)



鱈ヶ崎おびしゃ行事

【日時】 1月20日(日)15時~17時(予定)
【場所】 雷神社(鱈ヶ崎)



※見学は地元の方の迷惑にならないよう、マナーを守ってください

乳幼児を持つ方の交流の場(1月)

▽内容=別表のとおり▽時間=いずれも10時30分~12時▽申し込み=4日9時から電話で文化会館へ(③、④は申し込み不要)

内容	場所
①子育てサロン 11日(金) お正月あそび~お楽しみ福袋があるよ~ ※先着20組、参加費100円 18日(金) 親子でプレリトミック ※先着20組、参加費無料	文化会館
②作ってあそぼうサロン(概ね2歳以上を対象) 25日(金) はらぺこあおむし(軍手やフェルトで作成) ※先着20組、参加費100円	
③中央ひだまりサロン 8日・15日・22日・29日の火曜 「ひだまり」メンバーとの遊びやおしゃべりなど ※参加費無料	南流山福祉会館
④南流山ひだまりサロン 17日(木) 手遊び、親子体操、簡単工作など ※参加費無料	

■文化会館 7158-3462

児童館・センター 1月の催し物

会場	日程・催し物
駒木台児童館 7154-4821	12日(土) お正月あそびいろいろ 26日(土) らくらくクラフト
江戸川台児童センター 7154-3026	7日(月) ジャンボカルタ大会 12日(土) みんなで作ろう楽しい工作
思井児童センター 7159-5666	7日(月) ドッジボール大会 8日(火) 卓球大会
向小金児童センター 7173-9320	7日(月)~9日(水) プラバン工作 24日(木) わらべうたであそぼう
十太夫児童センター 7154-5254	7日(月) ドッジボール大会 12日(土) ジャンボカルタ大会
野々下児童センター 7145-9500	工事予定のため、後日館内に掲示します。
赤城児童センター 7158-4545	7日(月) 新春ビンゴ大会 12日(土) たこ作り
子育て支援センター ゆうゆう 7144-7926	8日(火) 身体測定 11日(金) 親子体操

医療の現場から

Vol.28

どうして歯周病になるの

流山市歯科医師会ホームページ
<http://nagareyama.cda.or.jp>

この病気の特徴です。風邪をひいて寝込んだ時、体力のなくなった時などに、歯がういたり、歯肉が腫れたりするのはかなり進行している状態と認識してください。

毎日しっかり歯みがきを朝昼晩行っているのに、歯周病になってしまう人がいます。そういう人のお口の中を見せただけで、歯垢(プラーク)がとりにくく、残っている状況が多々あります。ご自分ではきちんと歯みがきができていて、歯垢ができていないつもりでも、プロの目から見るとまだ歯垢が残っているわけです。

歯垢とは、歯周病、むし歯をおこす病原菌そのものです。歯と歯の間や、歯と歯肉の間(歯周ポケット)に、歯垢が残っていると歯周病になってしまいます。さらに具合の悪いところに、まったく自覚症状がなく進行するのが

この病気の予防、進行を抑えるには検診を受けてご自分の現状を知り、歯周病の正しい知識を得、正しい歯みがきの指導、治療を受ける必要があります。

(文/吉田英貴)